

令和元年度第2回

函館市榎法華地域審議会会議録

(令和元年11月29日)

函館市榎法華支所

令和元年度第2回函館市榎法華地域審議会会議録

開催日時	令和元年11月29日(金) 16時00分～16時54分
開催場所	函館市榎法華支所 旧議場
議 題	1 前回の意見等の集約結果と取組状況について 2 合併建設計画の執行状況について(諮問) 3 地域振興全般に関する意見交換 4 その他
資 料	資料1 令和元年度第1回函館市榎法華地域審議会 意見・要望等に対する取組状況 資料2 合併建設計画の執行状況
出席委員	◎木下恵徳委員 ○北村和彦委員 川口英孝委員 熊谷るみ子委員 小市光子委員 澤村朋子委員 沢山利一委員 辻 菊博委員 寺崎静華委員 中村千重子委員 (◎会長 ○副会長) (計10名)
欠席委員	岡山弘一委員 小市公三委員 五ノ井孝司委員 中村元勝委員 (計4名)
事務局 出席者の 職・氏名	函館市榎法華支所 支所長 芝井 穰 地域振興課長 京野 尚 市民福祉課長 山本 潤一 産業建設課長 木戸 幸治 地域振興課主査 沢山 渡 地域振興課主事 天満 真吾 地域振興課主事 藤枝 直哉 函館市教育委員会 榎法華教育事務所長 佐々木 真 函館市企画部 計画推進室長 三原 克幸 計画調整課長 高橋 紀子 計画調整課主査 坂田 悟 (計11名)
そ の 他	傍聴者 (計0名) 報道機関 (計1社)

○事務局 みなさま、こんにちは。

本日はご多用のところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

開会にあたりまして、本審議会会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。

木下会長よろしく申し上げます。

○木下会長 令和元年度、第2回目の地域審議会の開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

本日の地域審議会の議題は、ご案内のとおり、「前回の意見等の集約結果と取組状況について」と、「合併建設計画の執行状況について（諮問）」、「地域振興全般に関する意見交換」が主な内容となっております。

本地域審議会も残りわずかとなってまいりましたが、最後まで委員、皆様方の忌憚のないご意見、提言等をいただきながら、進めてまいりたいと存じますので、活発な審議をお願いいたします。どうぞ、よろしく願いいたします。

○事務局 木下会長、どうもありがとうございました。

続きまして、芝井支所長よりご挨拶申し上げます。

○芝井支所長 皆様おぼんでございます。皆様には何かとお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。今日は、特に寒さを感じる日だと思っております。

この間、当地域におきましても、台風や低気圧などによる大雨もございましたが、消防団等のご協力のもと、被害を最小限にとどめることができました。また、先月末の海鮮まつりや、今月初めの文化祭の開催にあたりましては、各種団体など、地域の皆様のご協力のおかげをもちまして、無事に終了することができました。この場をお借りして厚くお礼申し上げたいと思います。

さて、本日は、合併建設計画の執行状況などが議題となっております。この地域審議会も残りわずかとなってまいりましたが、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げまして、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞ、よろしく願いいたします。

○事務局 芝井支所長、ありがとうございました。

議事に入ります前に、本日は企画部計画推進室長と、同じく企画部計画調整課長と主査が出席していますので、紹介させていただきます。

企画部計画推進室長の三原 克幸でございます。

○三原室長 三原と申します。よろしく願いいたします。

○事務局 続きまして、同じく企画部計画調整課長の高橋 紀子でございます。

○高橋課長 高橋と申します。よろしく願いいたします。

○事務局 主査の坂田 悟でございます。

○坂田主査 坂田と申します。よろしく願いいたします。

○事務局 それではここで、出席委員の報告をさせていただきます。

出席者10名、欠席者3名で、委員の半数以上が出席していますので、地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の規定により、会議が成立しておりますことを、ご報告いたします。

なお、小市 公三委員、岡山 弘一委員、五ノ井 考司委員については、本日欠席となっております。このほか、中村 元勝委員については、遅れて出席される予定でございます。

それでは、これからの進行につきましては、地域審議会の設置に関する規程第8条第2項の規定により会長が会議の議長を務めることになっております。

木下会長、よろしく願いいたします。

○木下議長 それでは、ただ今から「令和元年度第2回函館市榎法華地域審議会」を開催いたします。これより議題に入ります。議題1「前回の意見等の集約結果と取組状況について」事務局より報告願います。質疑等については、すべての報告が終わってから一括で受けたいと思いますので、よろしく願いいたします。京野課長。

○京野課長 どうも皆様お疲れ様です。地域振興課長の京野です。資料1の説明の前に、お手元に今日配付してある資料をご確認していただければと思うんですけども、「合併建設計画の諮問」という印がついたものが1枚と、それからA4横の「全国瞬時警報システム」というチラシのようなものが1枚あると思います。後は座席表があるかと思います。そちらの方をまずご確認ください。

資料1の方をご覧いただければと思います。前回の会議におきまして、意見・要望等があったものにつきまして、取組状況等について、ご説明をいたします。

まず、エゾシカとの衝突事故後の対応についてということで、これは川口委員の方からお尋ねがあったものですが、取組状況に記載した内容がそのお答えになります。事故の場合はですね、運転者や同乗者の怪我、あるいは物損等の対応については、警察や保険会社への連絡、更にははねた鹿については、発見した方も含めて、道路交通上の妨げにならないように対応が必要になります。前回会議の時にお示ししましたリーフレットにダイヤルの番号が#9910というのが記されてますので、そちらの方に事故があった場合は電話しますと、国道・道道・市道含めて全ての道路管理者へ取り次ぐようになっているということです。処理費用の話もありましたけども、ケースによっても異なる場合があるのですが、おおよそ5万円程度が死体の処理ですとか発生するという風に聞いております。

次に選挙の投票所の見直しに関しましては、前回北村委員の方からありましたけども、早速ですね、私も支所の方で市の選挙管理委員会事務局に行きまして協議をしてみました。地域審議会からの意見ということも理解していただき、今後、市全体の中で当地域以外の他の投票所の見直しも検討課題に上っているということですので、市全体の中で榎法華地域の見直しも含めた検討を進めていただくようお話をしてみました。現時点ではまだ答えが出てませんが、引き続き選挙管理委員会事務局と協議を行っていくこととしております。

それから最後、小市委員の方からございました移住の関係のお話ですけども、前回の会議の場面でもお話ししたけども、担当部局は市の企画部となっておりますが、そのほか住まいのこととか、色んなことの個別の相談に応じてですね、当然支所の方にお話を持っていただければ、市の担当部局の方と連携して、ご相談の方も対応していきたいという風に思っております。

以上です。

○木下議長 ただいまの報告に関し、何か質疑・ご意見等がございましたらお願いいたします。川口委員。

○川口委員 鹿の件なんですけども、処理5万円というのは、ぶつけた本人が払うのですか。

○京野課長 そうです。

○木下議長 よろしいですか。

○川口委員 はい。

○木下議長 他にございませんか。

(なしの声)

他にないようですので、次の議題2「合併建設計画の執行状況について（諮問）」企画部から説明願います。

○三原室長 改めまして、企画部計画推進室長の三原と申します。本日は、合併建設計画の執行状況につきまして、諮問をさせていただくために、お伺いさせていただきました。

合併建設計画につきましては、合併後の新たなまちづくりの基本方針を定めまして、これを実現するための基本計画などを作成したところであり、当初は、平成26年度までの10カ年の計画としておりましたが、これを5年間延長いたしまして、今年度までの15カ年の計画となったところでございます。

地域審議会の皆様には、平成26年度までの10カ年につきまして、概ね適正に執行されているといった答申をいただいているところでありまして、この度は、平成27年度から今年度までの5カ年分諮問させていただくものでございます。

合併建設計画および地域審議会につきましては、今年度で終了となりますが、委員の皆様には、これまで様々なご意見やご提言をいただきまして、この場を借りてお礼申し上げます。

市といたしましても、引き続き地域特性に配慮した地域づくりを進めていきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

それでは担当課長の方からお配りした資料に基づきまして、ご説明させていただきます。

○高橋課長 それでは、私の方から資料に基づいて説明させていただきます。

この資料は、合併建設計画について、平成27年度から令和元年までの5カ年の執行状況をまとめたものであります。なお、今年度、令和元年度はまだ途中でございますので、実績数値等の変更の可能性もありますことから、暫定版ということで今回はお配りさせていただいておりますので、ご了承ください。まず1ページ目をお開きください。「合併建設計画の執行について」でございますが、これまでの取組みですとか経過などについて、簡単に記載しているところでございます。2ページ目をお開きください。2ページ目は、「施策の体系図」でございますが、将来像を「豊かな海が未来を拓くふれあいとやさしさに包まれた世界都市」とし、5つの基本目標を掲げ、この基本目標に沿った事業を展開することとしているところでございます。

3ページ目から10ページ目までは、基本目標ごとの事業実施状況について5つの基本目標に基づき、主要施策の内容およびそれらの実施状況を掲載しております。3ページの基本目標「1. 多様で力強い産業を振興するまちづくり」では国際的な水産・海洋都市の形成や水産業、農林業、商工業、観光の振興に関する実施状況を掲載しており、5ページからの「2. 安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」では、自然・地域環境の保全、消防・防災等の充実、交通・情報ネットワークの形成などについて、7ページからの「3. やさしさとぬくもりのあるまちづくり」では、保健・医療の推進、地域福祉の推進、高齢者福祉の推進などについて、9ページからの「4. いきいき学び地域文化を育むまちづくり」では、生涯学習の推進、学校教育の充実、高等教育機関の充実および連携の強化などについて、10ページからの「5. 連携と交流に

よるまちづくり」では、住民参加の推進、国際交流・地域間連携の推進に関しまして、基本目標ごとに掲げた主要施策の実施状況を掲載しております。11ページから16ページまでにつきましては、「東部4地域の事業実施状況」について地域ごとに掲載しております。17ページからは、参考資料として、「主要施策ごとの実績額および割合」について掲載しており、合併建設計画策定の際に作成した「地域別事業計画一覧」の10カ年の計画額に対する実績額と進捗率となっております。この表の、左から二番目の欄の計画額の欄ですが、A欄の、平成17年度から平成26年度までの10カ年の計画額、こちら一番下になりますが、総額2,921億3千万円に対しまして、右の欄になりますが、B欄、平成17年度から平成26年度までの10カ年の実績額といたしまして、約2,224億6千9百万円で、10カ年の進捗率は76.2%となっており、この度5カ年延長した期間につきましては、C欄になりますが、平成27年度から令和元年までの実績額はその欄の一番下になりますが、約1,233億6千3百万円で、B欄とC欄の15カ年の合計で約3,458億3千2百万円となり、進捗率は118.4%となったところでございます。18ページから21ページまでにつきましては、平成27年度から令和元年度までの「地域別の実績額」を記載しております。

以上、簡単ではございますが、概要につきまして説明をさせていただきました。今後の議論の参考にしていただければと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○木下会長 ただいまの説明は、合併建設計画の執行状況についてでございます。内容については、報告だけとさせていただきます。審議については、次回に向けて熟読していただき、次回の時に質疑・応答をさせていただきたいと思っておりますので、よく読んでおいていただきたいと思っております。諮問について、何か質問等はございますか。

(なしの声)

それでは、次回に諮問に対する答申をまとめるべく皆様方のご意見を頂戴したいと思いますので、よろしく願いいたします。

次に議題3「地域振興全般に関する意見交換」です。どうか、提案・審問等のご発言、よろしく願いいたします。

何かございませんか。

(なしの声)

それでは、次の議題4「その他」でございますが、事務局から何かございますか。

京野課長。

○京野課長 先ほどお話ししましたお手元のA4横のですね、「全国瞬時警報システム」についてご説明したいと思います。通称「Jアラート」と言いますが、12月4日にですね、来月入りますとすぐに、全国一斉の訓練がありまして、この地域におきましても、訓練を実施いたします。おおよそ11時ごろに地域内の屋外拡声器、それから戸別受信機の方に訓練の放送が最大音量で流れます。このJアラートは、緊急地震速報ですとか、弾道ミサイルの情報などを緊急情報として流すもので、通常、防災行政無線であると、私ども市の職員の肉声が流れるのですが、今度からこのJアラートになりますと、自動放送という形で流れることとなります。今現在、皆様のご自宅の方にも回覧で12月4日の訓練放送ということで回っているかと思っておりますけれども、そういうことで、12月4日に実施いたしますので、よろしく願いいたしますというお知らせです。

それとも一つですね、前回の地域審議会でもご説明をしたんですけども、この地域審議会、今回と年明けの先ほど会長の方からもありましたけれども、今の合併建設計画の諮問に答える審議ということをやりますと、次の会議で終わりになります。すでにこの数日の間に、合併に関

わる新聞報道を皆さんご覧になっていたかと思うんですけども、前回の会議でお示しました、東部地域まちづくり懇談会、こちらの方も新聞記事になっているのをご覧になったかと思います。この次に作りますこの東部地域まちづくり懇談会につきましては、前回ご説明しましたとおり、引き続きその地域振興に取り組むことが重要であることから、来年度から設置すると。これは個別に作るのではなくて、4つを1つにまとめたものを作ると、それからその目的ですとか、それから開催時期というのを、前回の会議で簡単に説明したところです。

今回ですね、新たにつくる懇談会の骨子をお示しようということで、4支所でもって検討を進めてきてました。中身的には次の懇談会を有効に機能させていくための役割ですとか、どんなことを協議するかというテーマやどのような方に、どのような団体の方にお声掛けするかということもですね、検討を重ねてまいりました。現在もその検討を重ねておまして、大変申し訳ないんですけども、今日現在ですね、その骨子ですとか、それから具体のイメージできるといったものをですね、お示しできる状況にはなっていないということで、申し訳ございませんが次回の会議に向けて、きちっと検討を終えて皆様の方にお示ししたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

以上です。

○木下議長 ただ今の説明に関し、何か質疑・ご意見等がございましたらお願ひいたします。

Jアラートについては、よろしいですか。

(はいの声)

この地域審議会が終了後、東部地域まちづくり懇談会の検討状況でだいたい大きくまとまっているのは、4支所を一つの形にして懇談会を作るという方針だそうでございます。今、質疑・応答もさせていただきますが、次回に向けて正しい説明があると思いますので、皆様の思いがありましたら、今あるいは次回においても発言いただければと思います。どなたかご意見等ございますか。小市委員。

○小市委員 次に向けたことで良いですね。今現在、パワーアップ事業というのがありますよね。

それをこのまま続けていっていただけるかどうか何ですよね。それを続けていっていただければ、せっかく地域住民も今のところ色々なもので安定はしておりますが、心配事も結構あります。ですから地域審議会がなくなったら、もっと大変になると思うので、この先パワーアップ事業を続けていただけるかどうかというのが心配です。

○木下議長 ただいまのご意見も検討の中に含めていただけますか。山本課長。

○山本課長 今小市委員からありましたパワーアップ事業につきましては、今榎法華町会が主体としていましてですね、草刈りだとか除雪の部分を受託してやっております。私どもの方としましては、今後皆様から色々な要望があるとすれば、そういった旨を榎法華町会に伝えた中でですね、榎法華町会の部分でやれるやれないの判断をしてもらって、それを受けた中で色々な事業の展開をしようということで、当然そこは榎法華町会の方々の委託を受けている部分がありますので、そちらの方のやれるやれない、それと法律に触れないような部分でやれるようなことがあれば、相談しながら手を進めていきたいと思ひます。今後もパワーアップ事業については、続けてやっていくという形で今現在は変わっておりません。

以上です。

○木下議長 今のは、東部地域まちづくり懇談会とは別の部分で、ここの支所だけの事業ということではよろしいですか。

○京野課長 パワーアップ事業は今山本課長からお話ありましたとおり、楸法華町会の川口会長で、地域の色々なニーズに応じて、今おっしゃった除雪ですとか草刈りなどをやっています。新たに地域のニーズがあれば、それはパワーアップ事業としてできないだろうかという話は楸法華町会や我々支所とも相談しながら、お話しはできると思います。

東部地域まちづくり懇談会、これが来年度から4つが1つになります。また、それぞれの地域で、こういった所でのお話が出るような、地域固有の色々な相談事とか、あるいは心配事とか、要望ですとかを今後どこでお話しをすれば良いかというお尋ねだと思っておりますけれども、まだ支所の方で決まっているわけではないのですけれども、そういう話も今考えています。例えば、町会の集まりを切り口にしてやるのか、あるいは全く平場でですね、例えばどこかの大きな部屋で、住民の方をお呼びして色々なお話を聞いたりというような、あまり肩肘張らない空気の中で、色々な話を聞いて支所として出来ることがあれば対応すると言ったようなですね、そういったことを直接やりとりできるような機会が必要だなという話は、支所の中では検討してまでするので、またそれはどこかのタイミングできちとお知らせしたいなと思っておりますけれども、おそらくその方向で、今支所長以下で私ども検討しておりますので、どうぞご理解等いただければと思います。

○木下議長 よろしいですか。

○小市委員 はい。もう一つあるんですけれども、地域の皆様は、結構市の職員さんや福祉の方には感謝してるし、充実しているんですよね。でもどうしても人の中に入れないという方も結構いるんですね。そういう方が結局、私の所に来て言う、そしてそれをパワーアップ事業の中で言うというように、中に入って言えない人がいるんです。住民の中には。だからそういうのも聞いてあげてね、今度はそれでやっていただければ、皆さん明るく楽しく安心して暮らせるかなと思うので、よろしく願いいたします。以上です。

○木下議長 芝井支所長。

○芝井支所長 今東部地域まちづくり懇談会のお話は今まだ煮詰めている所なので、小市委員が言われるのは、地域の皆さんの意見を聞く場面が欲しい、今京野課長の方からもお話ありましたが、私も来年度に向けてその案がまだできていないところでもありますけれども、3つある町会をベースにですね、例えば海に昆布が入らなくなってきたのはどうかとか、裏山の崖が危ないなど、地域の様々な課題というのがあるわけで、それを直接聞ける場面を考えているところでもあります。次の審議会に向けて少し具体的な物が出来ればなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○小市委員 よろしく願いいたします。

○木下議長 よろしいですか。

○小市委員 はい。

○木下議長 他にございませんか。川口委員。

○川口委員 この間新聞見てびっくりしたんですけれども、うちの地区では最大級のヤマモト水産の

倒産が、20人から30人の雇用が失われると、地域経済にはマイナーな雰囲気が出てきたんですけども、役所としてはその辺のような受け止め方をしていますか。

○木下議長 芝井支所長。

○芝井支所長 私もですね、先月末のイベントの際も非常に協力をしていただいて、新聞等で知る情報の中でも非常に心が痛いところでもあります。ただ、今情報が皆様にお知らせできるだけのものを持ち合わせていないところでもあります。今後の推移を確認した段階で皆様にお知らせしていきたいと思いますが、現状では、言える部分と言えない部分がありますので、その辺はご勘弁願いたいなと思います。

○木下議長 よろしいですか。

○川口委員 はい。

○木下議長 他にございませんか。

(なしの声)

ないようですので、これで本日の議題は、皆様のご協力のもと、全て終了いたしました。

次回の開催をもって、本地域審議会が終了となり、開催時期は来年3月ころを予定しております。議題内容については、「東部地域まちづくり懇談会」や「合併建設計画の執行状況の答申」等を予定しており、詳細につきましては、後日、事務局の方から委員の皆様へお知らせすることとします。日程も含め、正副会長に一任願いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。それでは長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございます。

以上をもちまして、令和元年度第2回函館市榎法華地域審議会を閉会いたします。

午後4時32分終了